

豊かさの多様性を考える

学校所在府県：兵庫県

学校名：兵庫県立豊岡高等学校定時制課程

名前：三宅 孝徳（地歴・公民）

実践教科：現代社会

指導時数：5時間

対象学年：高校4年生

対象人数：8人（1クラス）

1. 教師海外研修を通して感じたこと

初めての発展途上国での滞在は私にまた新しい視点を与えてくれた。生徒たちが持つ「かわいそう、日本に生まれてよかった」という感想は私が高校生の頃に抱いていたものと同様であり、多くの日本人が感じているところであろう。また、地理などで扱う「統計データ」から、そのように受け取ることができる数字の差も出ている。しかし、実際に現地を見た私の感想はそうではない。多くのネパールの魅力に触れ、現地の人々と交流した。同行した先生方と「豊かさ」について議論し、沢山語り合った。確かに、ネパールでは物理的な面で不足している部分や困難に直面している点は多々見受けられる。しかし、それが国の価値を決定することはない。そういった本当の世界を、私の体験や授業を通じて生徒に感じてもらいたい。

2. カリキュラム

(1) 実践の目的・背景

我が校の定時制の生徒たちの中に海外へ行ったことがある生徒はほぼいない。また、外国の生活へ想いを寄せたり、外国で今何が起きているのかを考えたりすることも少なく、「眼前のことに目が行く」というのが彼らの実状ではないかと感じている。彼らは勿体ないことに一面的な見方をしがちである。「こうだから、こうだ」「これをされたから、あいつはこうだ」など自分が受け取り、感じたものが全てであり、物事をストレートに捉えてしまう。しかし、これらは別の視点から見れば全然違った様相を呈するもので、私は彼らには状況や違った角度から物事を見る多角的な視点を習得し、視野の広い大人になってもらいたいと思う。今回はそれらを思いながら発展途上国やネパールの実践授業を行った。

(2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1 時限目 ネパールを知る① *ネパール体験報告	<ul style="list-style-type: none">●ネパールでの10日間を振り返り報告する。●ネパールに関する統計データも併せる。	<ul style="list-style-type: none">●世界地図●ネパール地図●パワーポイント●ネパールのモノ
2 時限目 溢れかえる ネパールのバイク *ネパールの発展を妨げる地理的要因や政治的背景を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none">●ネパールの交通事情から車とバイクに注目する。●地図からネパールが内陸国であることに気づく。●地理的な要因（中国側はヒマラヤ、山岳地帯）を理解した上で、ネパールの税政策（日本車への高関税とインド車の違い）とインドへの依存体制を理解する。	<ul style="list-style-type: none">●写真 パワーポイント●ワークシート 資料2

<p>3 時限目 ネパールの ないもの探し</p> <p>*ネパールに不足している インフラに焦点を置き、 直面する問題を学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●水・電気・道路の3つのインフラについて、それが欠けている生活を話し合う。 ●それぞれどのような問題が起きるか話し合う。 ●ネパールの人の生活でどのような苦労があるのか理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークシート 資料3 ●パワーポイント
<p>4 時限目 ネパールのあるもの探し -観光大使になろう-</p> <p>*ネパールの魅力に焦点を置き、豊かさの意味を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●教員が用意したネパールの写真から自分が魅力的だと思う写真を選ぶ。 ●ネパールの生活から魅力的だと思う点を挙げて、自分の生活と比較していく。 ●ネパールの魅力について写真を使って発表する。 ●豊かさは「もの」だけでないことに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真 ●パワーポイント
<p>5 時限目 ひとりひとりに できることは</p> <p>*国際協力と日本が出来ることを学び、モノの提供だけが支援でないことを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●JICA のイメージ VTR を鑑賞 ●さまざまな活動をしている（ハード面からソフト面まで）→ものの提供だけではない ●ODA のやり方（中国との違い） ●ネパールでの防災支援 ●私たちがネパールに伝えられる教訓 	<ul style="list-style-type: none"> ●VTR

3. 授業の詳細

1 時限目：「ネパールを知る① ネパール体験報告」

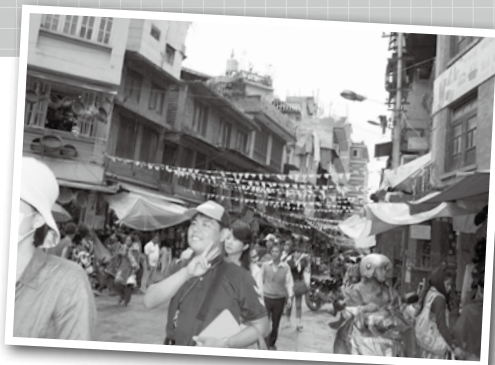
ねらい…ネパールがどんな国なのか知る。

◆内容◆

- ① ネパール滞在 10 日分の振り返りをパワーポイントで行う。資料1

！ココがポイント

ラブシーキャンディなど現地のものに実際に触れることが大切！
もっと沢山のものを持ち帰ればと、少し悔しい。



ネパール市街

◆所感◆ スライドの写真を見ながら、初めて見るネパールの様子を楽しんでくれたようだ。疑問に思ったことや自分が気になったことをすぐ口にしてくれるので、こちらもそれに応える形でやりとりが出来た。

スライドの中には次の時間のテーマに関する所があるので強調したつもりだったが、実際に生徒はほとんど忘れていたので、もっと印象に残る方法を検討しなければいけない。

生徒の感想

- ▶ ネパールのことなんて全然知らなかった。
- ▶ ラブシーキャンディは梅キャンディに砂糖をまぶした感じがする！

2 時限目：「ネパールを知る② 溢れかえるネパールのバイク」

ねらい…ネパールの産業が発展しない理由の「インドへの依存」を考察する。

◆内容◆

ワークシートを使用 資料 2

- ① ネパールの交通 VTR よりバイクが多い事に気づく。
- ② ネパールは内陸国だと知り、輸送手段を地図から読み解く。
- ③ インドの TATA 車が多いことに気づき、日本車との価格差の理由を考える。
- ④ 税金（関税）の優遇差はなぜあるのかという質問についてネパールの依存体制にたどり着く。



多すぎるネパールバイク

! ココがポイント

- ▶ 車やバイクは好きな生徒が多いので取り上げてみた。日本との違いも感じやすいテーマではないかと思えます。

◆所感◆ ネパールにいたるときから、バイクや車は授業に使いたいと思っていた。豊かさの授業（3・4 限目）をしていく上で、ネパールの発展途上国としての現状の説明は不可欠であった。「何がネパールの発展を妨げているのか」を先に学んでみようとの2 時間目を計画した。内容が小難しくならないように気をつけたが、地理的要素を理解する上でもっと世界地図を上手に使えたら良かった。ヒマラヤ山脈の険しさや山岳地帯ならではの悩みについても3次元でのイメージが出来て居ない分理解しにくかったかもしれない。

生徒の感想

- ▶ インドに依存した政策を続けていると、いつかネパールのためではなく、インドのための政治になっていくと思う。
- ▶ 地理的に不便かもしれないけど、依存したままだと何も変わらないと思う。
- ▶ ネパールでも日本のバイクが選ばれていることがうれしい。

3 時限目：「ネパールのないもの探し」

ねらい…ネパールで不十分なインフラを取り上げ、国民がどのような事態に直面しているのかを理解する。

◆内容◆

ワークシートを使用 [資料3](#)

- ① 1時間目の授業（ネパール報告）を思い出させる。
- ② 「水」「電気」「道路」にテーマを絞り、どんな生活をしていたか覚えていることを書きだす。
- ③ 「安全な水がなかったら？」というテーマで話し合う。
 - ・ 生命や緊急事態に関して
 - ・ 企業や産業発展に関して
 - ・ 農業に関して→それぞれについてどんな事態が起きるか考えをまとめる
- ④ ③と同様に「電気が不十分だったら」「道路が整備されておらず、凸凹な道」でも同様にまとめる。

4 時限目：「ネパールのあるもの探し・ネパール観光大使になろう」

ねらい…ネパールの魅力について議論し、「豊かさ」がモノだけでは測れないことを理解する。

◆内容◆

- ① ネパール写真から魅力が伝わる写真を1人1枚選び、その写真の良かった点を発表する。
 - ・ 教師側も2枚の写真を例示する。
 - ・ 生徒は写真について、どんな場面だったか気になるものについては質問する。
- ② 写真を黒板に並べ、ネパールの魅力について話し合う。
- ③ 3時間目と4時間目の比較をさせ、「物の豊かさ」と「こころの豊かさ」が必ずしもイコールでないと理解する。



ネパールの写真の数々

！ココがポイント

- ▶ 2時間連続で授業。「無い」ものを先に共通認識をさせておくことによって、「魅力」を話合う中で、ネパールの魅力を強調でき、自分の一面的な考え方に気づくことができると考えた。



もっとも多く選ばれた一枚

生徒の感想

- ▶ 水もなくて風呂も毎日入れないし、ゲームもテレビも携帯もないなんて、なんて不便なんだと思っていたけど、1日ゆったり時間を過ごしたり、サッカーをしたり、日が沈んだら就寝したり、ネパールの人たちの時間の過ごし方を新しく知って、何がいい暮らしなのか分からなくなった。とても不思議な感覚になりました。
- ▶ ネパールの人たちの笑顔が印象的だった。

◆所感◆ この開発教育の中で「豊かさとは何か」という自分が感じた疑問を生徒にも一緒になって考えてもらいたかった。生徒はネパールの魅力について語る事が出来たし、授業のねらいは達成できた。実はもう1時間、豊かさについて考える授業を用意していたが、時間の関係上使用しない事にしたことを悔やんでいる。ここを肝としていたので、もう少し生徒に違った視点で考える時間を持たせたかった。しかし、そんな中で生徒はこの課題に取り組み、「『日本が幸せで、発展途上国はかわいそう』は果たしてあっているのだろうか」ということを真剣に考えてくれたことは素直に良かったと思っている。

5 時限目：「ひとりひとりに出来ることは」

ねらい…JICA の活動から国際協力を学び、自分が国際社会の中で生きていることを自覚する。

◆内容◆

- ① JICA の VTR を見て、国際協力をする意味を理解する。
- ② 日本の ODA で作られた橋やバンコクの国際空港なども紹介。
- ③ ネパールでの活動を再度紹介。(地震分析調査、地域活性化、医療分野、教育支援など)。
- ④ 学校の様子からネパール地震を再度振り返り。
- ⑤ ネパールの子供たちに伝えられる地震、防災の知識を書きだす。



ネパールで活動している皆さん

生徒の感想

- ▶ 外国にお金を出す前に、日本国内をちゃんとしたら？と思っていたけど、改めて大切さを学べた。世界の人たちのことを考え支援することは、自分とは無関係ではないことを知った。日本の頑張りとはとても世界の力になっていると思う。
- ▶ お金を出して何かを作るだけが支援じゃないと分かった。これだったら、高校生にも何かできるのかも知れない。

◆所感◆ 「豊かさ」を考える授業を中心に据えたが、国際貢献や防災についてもしたい！と欲張ったのが、この5時間目である。日本という国はしばしば否定的に捉えられたり、自国からの評価でさえ低いこともある。しかし現実、世界ではこんなに頑張っている人がいて、日本がこれだけ素晴らしい取組みをしているということを知ってもらいたかった。盛りだくさん過ぎて、少々散らかった感じの授業となったが、感想からは意図したものが伝わったことがわかり安心している。

4. 成果

一貫したテーマで授業を続けたことによって、生徒の中にネパールや発展途上国について考える素地が出来ていた。初めて触れた国ではあったが、想いを寄せる事が出来たようで、授業後に国際関係のニュースを話題にする生徒が増えた。また普段の生活の中で、当たり前だと思ったことが、実は当たり前でないことに気づき、自分たちの生活に感謝する気持ちに言及する生徒がいたことがこの授業の成果である。他にも、ネパールと但馬を重ね合わせた生徒もおり、地域の不便さはそれを越えるだけの魅力を作ってカバーするという発言があったことには個人的に驚いた。生徒たちにはこの先、ネパールだけに留まらず、別の国や国際社会に対して問題意識を持ち続けてもらいたいと思う。

5. 課題

ネパールや発展途上国、国際協力について突き詰めて考えたこの研修で学んだことは、本当に沢山あり、授業で扱ったところはそのごく一部である。どれを生徒に伝えようか、取舍選択にむずかしさを感じた。しかし、今回範囲から外したが、カーストやごみ問題、障がい者への取組などもネパールの今抱えている問題であり、本来ならば生徒たちに伝えたいものであった。今後、国際社会を授業で取り上げる上で、どのような点に狙いを定め、どんな風に授業を組み立て、何を生徒たちに伝えるべきなのかという事に関して、今後も悩み続けたいと思う。また、授業では国際社会に目を向けることや、違った視点に目を向けさせることに一定の手ごたえや成果を感じることができたが、生徒の社会活動に繋げることが出来るような要素が足りていなかった。今後はこの点にも焦点を置き、授業に発展させていく事が課題である。

資料 1

参考資料

・ 参考ホームページ URL

JICA movie

更なるチャレンジを！持続可能な発展のために

<https://www.youtube.com/watch?v=DPioWlbfVvU>

依存大国日本

<https://www.youtube.com/watch?v=3Ob0wNNzev8>



資料 2

開発教育：ネパールの発展可能性を探る

4-2 ネパールの流通と大国の影

バイクが大好きな国

インドがネパールに輸出で 求める品 (資料を参考にする)

- 1 ネパールの輸出入品はほとんどを
- 2 インドがネパールから輸入しているものは
- 3 ネパールの輸出入品は から できている。
- 4

今日でてきたネパールの開発発展を結びつけるもの

資料 3

開発教育：ネパールの発展可能性を探る

4-3 インフラと当たり前の生活

日本のインフラ整備はともなっていて、日本と比べて困るようなことは経験していないだろう。しかし、これは果たして当たり前の生活だろうか？

Question 1 安全な水が無ければ、どんな困ることがあるだろう？

Question 2 安定した電力供給が無ければ、どんな困ることがあるだろう？

Question 3 きちんとした道路が無ければ、どんな困ることがあるだろう？

感想 あなたが感じたことを書きなさい。